

第 64 回全日本プロ選手権自転車競技大会 開催要綱

1. 開催目的

本大会は、全国から選抜された優秀な選手により、我国における最高のプロ自転車競技大会として実施する。

本大会の実施によって、本年度の種目別選手権者を決定するとともに、成績優秀選手を国内の競技大会へ派遣する他、我国プロ自転車競技選手の資質向上、自転車競技の普及、競輪の健全なる発展に寄与することを目的とする。

2. 名称

第 64 回全日本プロ選手権自転車競技大会

3. 主催

(公財) 日本自転車競技連盟

日本プロフェッショナルサイクリスト協会

4. 主管

(一社) 日本競輪選手会

5. 後援

経済産業省

(公財) J K A

(公社) 全国競輪施行者協議会

(一財) 全国競輪選手共済会

中日新聞社

東京新聞

東京中日スポーツ

中日スポーツ

和歌山県

(順不同)

6. 協賛

別に定める。

7. 大会役員

別に定める。

8. 競技の種類

トラック競技

9. 開催日時

平成29年5月29日(月)

競技開始 9時30分 開会式 11時35分

10. 開催場所

和歌山競輪場(周長:400m カント:ホーム側 $2^{\circ}51'45''$ 、センター側 $32^{\circ}15'7''$)

〒640-8076 和歌山県和歌山市五筋目10-1

電話 073-431-1019

11. 実施種目

- (1) スプリント
- (2) 4km個人パーシュート
- (3) 4kmチームパーシュート
- (4) 1kmタイムトライアル
- (5) エリミネーションレース
- (6) チームスプリント
- (7) 男子ケイリン
- (8) 女子ケイリン(エキシビション)

12. 競技役員

(1) 選出

日本プロフェッショナルサイクリスト協会が委嘱した者。

(2) 人数

別に定める。

(3) 競技役員の分掌

大会委員長 大会副委員長 大会委員 総務委員長 総務委員 競技委員長 競技委員 審判長 副審判長	場内指令 決勝審判員 発走合図員 発走員 計時員 周回員 走路審判員 打鐘員 記録員	招集員 検車員 器材管理員 医務員 放送員 広報員 賞典員 接待員 ファンサービス 番組編成員
--	--	--

13. 監督及び助監督

(1) 対象者

日本プロフェッショナルサイクリスト協会正会員及び日本競輪選手会支部職員とする。

(2) 選出方法

① 監督

各地区より選出する。但し、競技役員を除く。

② 助監督

各地区より選出する。但し、競技役員を除く。

(3) 人数

① 監督

各地区1名

② 助監督

各地区2名

14. 出場選手

大会出場選手については、日本プロフェッショナルサイクリスト協会正会員であって、大会直前に開催された地区プロ大会出場者の中から、次の基準により選抜する。

(1) 特別推薦

前回全日本プロ選手権自転車競技大会個人種目優勝者及び当該全プロ大会開催年の前年（1月～12月）に開催された国際自転車競技大会において優秀な成績（リオデジャネイロオリンピック出場者、世界選6位以内、ワールドカップ3位以内）を収めた者であって、競技委員会において選抜された者。ただし、国際自転車競技大会成績優秀者の出場種目については、ケイリンを除く個人種目とする。

(2) 地区推薦

地区プロ大会及び競輪競走で優秀な成績を収めた者、又は特に品性・技能優秀な者より、地区で協議の上推薦された者。

(3) 種目別推薦

① 個人種目推薦

日本自転車競技連盟又は日本プロフェッショナルサイクリスト協会が派遣する自転車競技大会に出場したこと又は公的行事に参加したことにより地区プロ大会みなし出場となった者であって、競技委員会が特に認めた者をケイリンを除く個人種目（スプリント、1kmタイムトライアル）に選抜する。なお、出場する種目は競技委員会が指定する。

② ケイリン推薦

上記特別推薦選手、地区推薦選手及び個人種目推薦選手が確定した後、平成28年1月～12月の間における競輪競走の平均競走得点上位者（年間出走回数48回未満者は除く）から競技委員会において20名を選抜する。

15. 選手の除外について

日本プロフェッショナルサイクリスト協会規約「全日本プロ選手権自転車競技大会開催規程」第20条の定めに該当する選手は選考対象から除外する。

16. 出場選手欠場時の代替選手について

全プロ大会に選抜された選手が欠場する際の代替選手の取扱いについては、次の通りとする。

(1) 特別推薦

代替選手を出場させないこととする。

(2) 地区推薦

当該地区より代替選手を出場させることとする。

(3) 種目別推薦

① 個人種目推薦

代替選手を出場させないこととする。

② ケイリン推薦

当該地区より代替選手を出場させることとする。

17. 競技規則

国際自転車競技連合競技規則、日本自転車競技連盟競技規則及び本大会競技規則による。

18. 番組編成

別に要領を定め、公平な番組編成を行う。

19. 医務

医務体制に万全を期し、事故の補償については全国競輪選手共済会規程に基づき行う。

20. 宿舎

別に定める。

21. 輸送関係

別に輸送計画を定め、円滑な輸送を図る。

22. 式典

別に要領を定め、大会に相応しい式典を行う。

23. 表彰

下記により賞品、賞状等の表彰を行う。(後援・協賛団体賞も含む)

①賞品 ②賞状 ③賞金 ④チャンピオンセーター

種 目 名	1 位	2 位	3 位	4 位	備 考
ス プ リ ン ト	①②③ ④	①②③	①②③	③	
4 km 個人パーシュート	①②③ ④	①②③	①②③	③	
4 km チームパーシュート	①②③ ④	①②③	①②③	③	
1 km タイムトライアル	①②③ ④	①②③	①②③	③	
チ ャ ン ピ オ ン セ ー タ ー ス プ リ ン ト	①②③ ④	①②③	①②③	③	
エリミネーションレース	①②③ ④	①②③	①②③	③	
男 子 ケ イ リ ン	①②③ ④	①②③	①②③	③	
女 子 ケ イ リ ン (エキシビジョン)	①③	①③	①③	③	

24. 広報宣伝

報道機関等を利用し、開催地を中心に全国各地にその広報宣伝活動を展開する。

25. ファンサービス

興味あるイベントを企画し、より一層の来場促進と大会の盛り上げを図り、自転車競技ファン並びに競輪ファン層の拡大に努める。また、インターネットによるライブ映像配信を行い、自転車競技の魅力を広く発信する。

26. 準備組織

第 64 回全日本プロ選手権自転車競技大会準備機関として関係団体で大会準備プロジェクトチームを構成する。

27. その他

場内警備等について

開催中は、観客の安全の確保、犯罪の防止、運営の安全確保のため、場内警備員、救護員を配置する。

(1) 警備体制

公益財団法人 J K A 近畿支部の自衛警備隊 3 名を中心に、入場門付近や駐車場周辺、場内パトロール等として警備員 8 名を配置し、計 11 名で万全の体制で場内警備に努める。

大会本部との連携を密にし、地元警察の協力のもと警備の強化を図る。

(2) 救護体制

救護室には、医療品・医療器具等必要な機材を備え、看護師を常駐させる。選手管理棟医務室に常駐する医師との連携を密にし、万全の体制を整える。

救護室では患者の応急措置及び軽易な手当てを行い、必要に応じて医療機関に移送する。